〈国際教養学部〉

科　目　名	科目区分	開講年次	必･選	開講期	単位数	担当教員名	担当形態
海外研修 AⅡ	専門（国際社会）	1,2,3,4	選択	通年	4	複 数 教 員	複数

英語科目名	Overseas language study program AⅡ	レベル	中級

＜授業概要＞
履修者は本学が提携を結ぶ海外大学等の機関への 3 週間程度の語学研修（合計 100 時間程度）に参加する。「海外研修ＡＩ」を修了した者が、より難易度の高いレベルのクラスに属して学ぶことを目指している。履修者は各自、事前に外国語そのものあるいは研修先の国の文化に関する調査とプレゼンテーションを行うことにより研修旅行の準備を進め、研修旅行を行い、帰国後に研修内容に関するレポートを提出することにより、単位認定となる。

＜到達目標＞
海外大学等の機関での語学研修を通じて、外国語でのコミュニケーション能力の向上および国際的な相互理解と文化交流の態度をさらに高いレベルにまで養うことを目指す。外国語で自分の考えを相手に伝えられると同時に、相手の考えも理解し、議論や共感の場を持ち、異文化を理解するコミュニケーションスキルを身に付ける。

＜ディプロマポリシー＞
・国際人としてのアイデンティティを確立し、異文化に柔軟に対応するグローバルリテラシーを有する人材
・さまざまな専門領域を横断する知識と多角的視点を有する教養豊かな人材
・高い対人関係能力・コミュニケーション能力を有する人材
・自由な発想で問題発見・問題解決能力を有し、時代の変化に適応できる人材
・上記の能力を発揮して、グローバル社会に貢献できる人材

＜学生へのフィードバック＞
研修前の調査計画と研修後の研究発表に対してコメントをする。

＜授業／AL の進め方＞
調べ学習を行い、その成果について発表し、教員がコメントする。

＜利用する ICT 機器＞
パソコン、プロジェクター

＜成績評価＞
【評価方法】
研修、プレゼンテーション、レポートにより総合的に評価する。研修中の内容（成績、出席率）が 80%、プレゼンテーションが 10%、レポートが 10%。

【評価基準】
事前課題のレポートやプレゼンテーションの内容、研修先での出席率と成績、事後課題のレポートやプレゼンテーションの内容によって評価する。

＜教科書＞
使用しない。

＜参考書＞
必要に応じてプリントを配布し、参考文献を指示する

＜受講学生へ＞
研修内容によって、本学での授業回数が異なる可能性がある。
普段と異なる環境に行くということと、語学と文化を学びに行くということを十分に自覚すること。

【授 業 計 画】

第 1 回	授業内容	海外研修について研修先の注意事項や生活などについての全般的説明を行う。
第 2 回	授業内容	研修先の文化、歴史について調査し、調査内容をプレゼンテーションする。 各自の準備計画について振り返りを行う
第 3 回	授業内容	研修
第 4 回	授業内容	研修
第 5 回	授業内容	研修
第 6 回	授業内容	研修
第 7 回	授業内容	研修
第 8 回	授業内容	研修
第 9 回	授業内容	研修
第 10 回	授業内容	研修
第 11 回	授業内容	研修
第 12 回	授業内容	研修
第 13 回	授業内容	研修
第 14 回	授業内容	研修
第 15 回	授業内容	研修
第 16 回	授業内容	研修
第 17 回	授業内容	研修
第 18 回	授業内容	研修
第 19 回	授業内容	研修
第 20 回	授業内容	研修
第 21 回	授業内容	研修
第 22 回	授業内容	研修
第 23 回	授業内容	研修
第 24 回	授業内容	研修
第 25 回	授業内容	研修
第 26 回	授業内容	研修
第 27 回	授業内容	研修
第 28 回	授業内容	研修
第 29 回	授業内容	研修
第 30 回	授業内容	研修内容についての発表とレポート提出

事前事後学修	研修前には、海外語学研修の意義を考え、 研修内容と到達目標を明確化する。目標到達のための、研修の準備計画を立てる。研修中は、予習復習を毎日行う。研修後は、研修内容が目標を達成できたかどうか振り返る。